

第1回 国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会議事録

日 時：平成29年6月21日（水） 午後2時45分～4時30分

場 所：国分寺駅ビル8階 国分寺Lホール

出席者：（協議会委員/五十音順 敬称略）

江守 央	大澤 康雄	小笠原 鐵治	小川 恵一郎
小林 治	豊田 淳子	長島 剛	中村 秀雄
平岡 実	本多 隆	本多 勝	水越 寿男
宮下 清栄	森下 和仁	吉越 啓隆	和田 淳

事務局：国分寺市まちづくり部まちづくり推進課

- 次 第：
1. 委員委嘱
 2. 市長挨拶
 3. 委員及び事務局紹介
 4. 会長・副会長選出
 5. 開会
 6. 議題
 - (1) これまでのまちづくりの取組みについて
 - (2) 協議会の進め方について
 - (3) 地区の上位計画・現況について
 - (4) その他
 7. 事務連絡
 8. 閉会

配布資料

- 資料 1 : 「国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり」の背景と経緯
- 資料 2 : 国分寺都市計画道路 3・4・11 号線周辺まちづくりの方向性
- 資料 3 : 国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会の役割と検討の進め方
- 資料 4 : スケジュール（案）
- 資料 5 : 国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会のルール（案）
- 資料 6 : 当該地区の上位計画について
- 資料 7 : 当該地区の現況について
- 参考資料－1 : 国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会設置要綱
- 参考資料－2 : 国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会委員名簿
- 参考資料－3 : 国分寺都市計画道路 3・4・11 号線周辺まちづくりに関するアンケート調査の結果報告
- 参考資料－4 : 国分寺都市計画道路 3・4・11 号府中国分寺線及び府中都市計画道路 3・4・21 号府中国分寺線事業概要及び測量説明
- 参考資料－5 : 史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりについて
- 参考資料－6 : 東京都文化財庭園等景観形成特別地区の指定による殿ヶ谷戸庭園における制限事項
- パンフレット : 国分寺都市計画マスタープランのあらまし
- パンフレット : 国分寺市まちづくり条例のあらまし

【議 事】

1. **委員委嘱** 井澤市長より委員に委嘱状を交付。
2. **市長挨拶** 井澤市長より挨拶。
3. **委員及び事務局紹介** 各委員の紹介及び挨拶。事務局の紹介及び挨拶。
4. **会長・副会長選出**
会長：宮下 清栄委員
副会長：江守 央委員
5. **開会** 会長の開会宣言により協議会が開会。

6. 議題

(1) これまでのまちづくりの取組みについて

(2) 協議会の進め方について

議題(1)と(2)について事務局より、資料1～5に基づき説明。

和田委員： 協議会ではどのレベルまで検討するのか。方針までに留めるのか、それとも具体的なルールの内容まで踏み込むのか。

事務局： 「まちづくりの方向性」が、平成26年度に決定している。その「まちづくりの方向性」が目指すまちの将来像の実現に向けて、こういった取組みをすればよいかを検討していただきたい。具体的な土地利用のルール等について議論していただき、まちづくり計画の中に盛り込んでいきたい。

会長： 協議会のスケジュール(案)、ルール(案)については、特に意見がないようなので、案のとおりとする。

(3) 地区の上位計画・現況について

事務局より、資料6、7に基づき説明。

和田委員： 国3・4・11号線の用地買収も迫っており、まちづくりのルールを早期に定めなくてはいけない状況にあるという理解でよいか。

事務局： 国3・4・11号線の道路整備自体は東京都の事業であるが、国分寺市としては、道路整備と合わせる形でまちなみの形成を図ることができるよう準備を進めたいと考えている。今後2年間でまちづくり計画を検討し、平成31年度には計画を決定したい。そして、定めたルールを都市計画に位置付けていきたい。

副会長： 資料において、地区外である史跡武蔵国分寺跡周辺エリアの歴史的な環境についても触れているが、こういった目論見があるのか。地域の資源としてどう捉えていくべきなのか考えがあれば教えていただきたい。また、国3・4・11号線にかかる用水について、残すべきなのか、なくすべきなのか、方向性について教えていただきたい。

事務局： 史跡武蔵国分寺跡周辺地区については、かつて、まちづくり推進地区に指定し、まちづくり計画を決定している。そして、本市における歴史的財産であり、魅力あふれる地域である。「国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり推進地区」とほぼ隣接しているため、環境に配慮しながら、景観やまちなみの形成に活かしていければと考えている。用水については、国3・4・11号線に一部かかっているため、今後のあり方については、市の緑の部門で検討しているところで

ある。

副会長： 道路の形としての寿命は最低 100 年である。今後、国分寺らしさとは何か、残すべきものは何なのかを議論をしていきたい。

小林委員： 国分寺駅の北口は再開発が進んでいるが、南口においては、史跡があることから東元町商店会は重要な役割を担うと考える。例えば、史跡商店会という名前にするなどして PR する方法もあると思う。また、大正時代に造られた貴重な橋もあり、そういったものを残した方がよいと思う。観光地として多くの人にきてもらい、安心して歩けるまちづくりを進め、人の流れをつくることが重要と考える。

長島委員： 国 3・4・11 号線の南側は府中市に繋がっているが、隣の府中市のまちづくりに関する動きをご紹介いただきたい。

事務局： 国分寺市のまちづくりの考えについては、府中市にも伝えている。現在、府中市は都市計画マスタープランの改定を行っているようであり、今後、具体的な動きがあれば、ご報告したい。

吉越委員： 平成 28 年に殿ヶ谷戸庭園が、東京都景観計画で東京都文化財庭園等景観形成特別地区に指定されているようであり、対象範囲に南町 2 丁目の国分寺街道周辺部が含まれている。既に建築物の高さ制限や屋上看板等の規制がかかっているが、このエリアについてはどこまで検討していくのか。

事務局： 既にかかっている建築物の高さや屋上看板等の基準等に、今回策定するまちづくり計画は整合をとらなくてはいけない。

平岡委員： 野川の拡幅工事については、資料に載っていないが、どうなっているのか。

大澤委員： 野川については東京都の事業である。下流の方から整備すると聞いているが、現在、東京都から具体的な話はない。周辺のまちづくりにも関係するため、東京都になるべく具体的な方向性を示してもらおうようお願いをしている。

森下委員： 現在、用途地域が第一種低層住居専用地域となっているエリアの住環境が悪化するの容認しがたい。また、現在、国分寺街道沿道は近隣商業地域となっているが、国 3・4・11 号線沿道については、あまり自由度の高い用途や高度利用は好ましくないと考える。用途地域は現在のままか第一種住居地域ぐらいが妥当だと思う。また、元町用水付近の整備において、環境を壊さないように配慮していただきたい。

会 長： 用途地域につながる土地利用の在り方については今後の主な議題となってくると考える。

(4) その他

副 会 長： 7月29日の懇談会について、具体的に何を予定か。

事 務 局： 第2・3回の協議会で新設区間周辺の土地利用について協議していただく予定であり、それに先立って、住民から方向性や取組みについて意見を聴く予定である。なお、自由参加であり、協議会委員の出席を予定しているものではない。

7. 事務連絡

事務局より、次回協議会日程案と内容について説明。

8. 閉会

以上